

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	緊急予防治山事業		
長崎県総合計画上の位置づけ	柱	3	夢や希望のあるまち、持続可能な地域を創る
	基本戦略	3	安全安心で快適な地域を創る
	施策	(3)	災害に強く、命を守る強靱な地域づくり
	事業群	⑤	防災・減災のための国土強靱化の推進

作成年月日	令和6年11月26日		
事業所管	農林 森林土木	部 班	森林整備 (内線) 2992 室
課(室)長名	松尾 尚洋		

1. 事業の概要

事業概要	<事業の主な実施内容> 荒廃山地における治山ダム、法枠工、土留工、地山補強土工等の治山施設の整備を行う。											
	<国の主な採択基準> ①山地災害危険地区の崩壊危険度等及び被災危険度とも最も高い評価である地区の保全 ②市街地又は集落(人家10戸以上)の保護 ③工事規模 年度計画 山腹 800万円以上 渓流 1,500万円以上 全体計画 山腹2,500万円以上 渓流4,500万円以上 <負担区分(%)> <table border="1"><thead><tr><th>国</th><th>県</th><th>地元</th><th>条件</th></tr></thead><tbody><tr><td>50</td><td>50</td><td></td><td>通常地域</td></tr><tr><td>55</td><td>45</td><td></td><td>火山地域</td></tr></tbody></table> <県費の継ぎ足し> ☐ 有 ☒ 無	国	県	地元	条件	50	50		通常地域	55	45	
国	県	地元	条件									
50	50		通常地域									
55	45		火山地域									

3. 令和7年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	馬込(まごめ)	西海市
2	三軒家(さんげんや)	新上五島町
3	大山(おやま)	対馬市
4	小川原(こがわら)	五島市
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	・地域の要望が高く、災害の早期復旧・未然防止が図られること。 ・投資効果が見込まれること。 ・計画内容、施設規模が経済的な計画となっていること。 ・関係機関との協議・調整が整っていること。
---------	---

令和7年度新規要求箇所評価調書(緊急予防治山事業)

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R7)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R7)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等		総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等				
							県債	一般財源					
まごめ 馬込	西海市	県	R11	全体計画 固定工 2,800㎡、 落石緩衝柵工 250m 測量設計 1式 保全対象 人家31戸、市道400m	175,000	87,500	78,700	8,800	当地区は、西海市大島町西部に位置している。 山腹斜面内には、風化の進行した岩盤や、岩盤から崩落し、不安定な状態にある転石が散在している状況である。 今後の豪雨等により、岩盤の崩落が発生し、下方の人家等に被害を及ぼす恐れがあるため、早急な対策を講じる必要がある。	西海市及び地元は早期の事業実施を強く要望しており、令和6年2月14日に施工願が提出されている。		A	
				R7計画 測量設計 1式	15,000	7,500	6,700	800					
				費用便益比	B/C=4.55>1.00		負担割合	国:県:地元＝50%:50%:0%					
さんげんや 三軒家	新上五島町	県	R11	全体計画 治山ダム工 1基 法枠工 2,000㎡、土留工 30m 測量設計 1式 保全対象 人家22戸、町道 400m	260,000	130,000	117,000	13,000	当地区は、新上五島町北部に位置している。 近年の豪雨等により、溪岸浸食による土砂の流出が発生し、渓流内に不安定な状態で堆積している。 また、人家裏の山腹斜面では小崩壊が発生し、土石の流出や落石が発生している。 今後の豪雨等により、拡大崩壊及び土砂が流出することにより、下方の人家等に被害を及ぼす恐れがあるため、早急に対策を講じる必要がある。	新上五島町及び地元は早期の事業実施を強く要望しており、令和6年2月2日に施工願が提出されている。		A	
				R7計画 測量設計 1式	15,000	7,500	6,700	800					
				費用便益比	B/C=2.25>1.00		負担割合	国:県:地元＝50%:50%:0%					
おやま 大山	対馬市	県	R10	全体計画 法枠工 1,500㎡ 地山補強土工 700㎡ 土留工 70m、測量設計 1式 保全対象 人家13戸、集会所(指定避難所)、 消防格納庫	150,000	75,000	67,500	7,500	当地区は、対馬市美津島町中央部に位置している。 近年の豪雨等により、山腹斜面の浸食、風化した岩盤の剥離による土石の流出が発生している。 今後の豪雨等により、拡大崩壊し、下方の人家等に被害を及ぼす恐れがあるため、早急な対策を講じる必要がある。	対馬市及び地元は早期の事業実施を強く要望しており、令和5年11月22日に施工願が提出されている。		A	
				R7計画 測量設計 1式	20,000	10,000	9,000	1,000					
				費用便益比	B/C=2.21>1.00		負担割合	国:県:地元＝50%:50%:0%					
こがわら 小川原	五島市	県	R9	全体計画 治山ダム工 1基、流路工 80m 測量設計 1式 保全対象 人家10戸、消防格納庫、市道120m 農道180m	135,000	67,500	60,700	6,800	当地区は、五島市北部に位置し、下流に2級河川小川原川が流れている。 近年の豪雨等により、溪岸侵食による土砂の流出が発生し、渓流内に不安定な状態で堆積している。 今後の豪雨等により、土砂が流出し、下流の人家等に被害を及ぼす恐れがあるため、早急な対策を講じる必要がある。	五島市及び地元は早期の事業実施を強く要望しており、令和5年11月24日に施工願が提出されている。		A	
				R7計画 測量設計 1式	15,000	7,500	6,700	800					
				費用便益比	B/C=1.32>1.00		負担割合	国:県:地元＝50%:50%:0%					
合計					720,000	360,000	323,900	36,100	0				
					65,000	32,500	29,100	3,400	0				

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	予防治山事業		
長崎県総合計画上の位置づけ	柱	3	夢や希望のあるまち、持続可能な地域を創る
	基本戦略	3	安全安心で快適な地域を創る
	施策	(3)	災害に強く、命を守る強靱な地域づくり
	事業群	⑤	防災・減災のための国土強靱化の推進

作成年月日	令和6年11月26日		
事業所管	農林部 森林土木班	森林整備室 (内線)	2992
課(室)長名	松尾 尚洋		

1. 事業の概要

事業概要	<事業の主な実施内容> 荒廃山地における治山ダム、法枠工、土留工、地山補強土工等の治山施設の整備を行う。 <国の主な採択基準> ①1、2級河川流域 ②その他の河川又は地区で、次の各号のいずれかに該当 1) 農地、ため池、用排水施設、魚場等の保護 2) 市街地又は集落(人家10戸以上)の保護 3) 主要公共施設の保護 ③工事規模 年度計画 山腹 800万円以上 渓流 1,500万円以上 全体計画 山腹2,500万円以上 渓流4,500万円以上 <負担区分(%)> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国</th><th>県</th><th>地元</th><th>条件</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50</td><td>50</td><td></td><td>通常地域</td></tr> <tr> <td>55</td><td>45</td><td></td><td>火山地域</td></tr> </tbody> </table> <県費の継ぎ足し> ☐ 有 ☒ 無			国	県	地元	条件	50	50		通常地域	55	45		火山地域
国	県	地元	条件												
50	50		通常地域												
55	45		火山地域												

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	・地域の要望が高く、災害の早期復旧・未然防止が図られること。 ・投資効果が見込まれること。 ・計画内容、施設規模が経済的な計画となっていること。 ・関係機関との協議・調整が整っていること。
---------	---

3. 令和7年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	昭和町(しょうわまち)	長崎市
2	五太郎(ごたろう)	大村市
3	百合ヶ丘(ゆりがおか)	西海市
4	増田(ますだ)	五島市
5	荒川(あらかわ)	新上五島町
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

令和7年度新規要求箇所評価調書(予防治山事業)

(ふりがな) 事業箇所名	市町村 名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R7)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R7)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等		総合 評価			
					事業費	国費	県費		市町村費等							
							県債	一般財源								
しょうわ まち 昭和町	長崎市	県	R10	全体計画 治山ダム工 2基、流路工 100m、 地山補強土工 500㎡、法枠工 500 ㎡ 測量設計 1式 保全対象 人家60戸	140,000	77,000	56,700	6,300	当地区は、長崎市北部に位置し、浦上水源地に隣接している。 近年の豪雨等により、溪岸浸食による土砂の流出が発生し、溪流内に不安定な状態で堆積している。 また、人家裏の山腹斜面内には段差地形や小崩壊が発生している。 今後の豪雨等により、拡大崩壊及び土砂が流出することにより、下方の人家等に被害を及ぼす恐れがあるため、早急に対策を講じる必要がある。	長崎市及び地元は早期の事業実施を強く要望しており、令和4年12月9日に施工願が提出されている。		A				
				R7計画 測量設計 1式	15,000	8,250	6,000	750								
				費用便益比									B/C=10.96>1.00		負担割合	国:県:地元=55%:45%:0%
ご たらう 五太郎	大村市	県	R11	全体計画 治山ダム工 1基、流路工 30m、 地山補強土工 5,000㎡ 測量設計 1式 保全対象 人家45戸、保育園1戸、郵便局1戸	220,000	121,000	89,100	9,900	当地区は、大村市東部に位置し、集落沿いに二級河川郡川が流れている。 近年の豪雨等により、溪岸浸食による土砂の流出が発生し、溪流内に不安定な状態で堆積している。 また、人家裏の山腹斜面内には段差地形や小崩壊が発生している。 今後の豪雨等により、拡大崩壊及び土砂が流出することにより、下方の人家等に被害を及ぼす恐れがあるため、早急に対策を講じる必要がある。	大村市及び地元は早期の事業実施を強く要望しており、令和5年2月1日に施工願が提出されている。		A				
				R7計画 測量設計 1式	15,000	8,250	6,000	750								
				費用便益比									B/C=5.23>1.00		負担割合	国:県:地元=55%:45%:0%
ゆりがおか 百合ヶ丘	西海市	県	R9	全体計画 治山ダム工 1基、流路工 50m 測量設計 1式 保全対象 人家15戸、県道50m	115,000	57,500	51,700	5,800	当地区は、西海市大島町南部に位置する。 近年の豪雨等により、溪岸侵食による土砂の流出が発生し、溪流内に不安定な状態で堆積している。 今後の豪雨等により、土砂が流出し、下流の人家等に被害を及ぼす恐れがあるため、早急な対策を講じる必要がある。	西海市及び地元は早期の事業実施を強く要望しており、令和6年2月14日に施工願が提出されている。		A				
				R7計画 測量設計 1式	15,000	7,500	6,700	800								
				費用便益比									B/C=3.33>1.00		負担割合	国:県:地元=50%:50%:0%
ますだ 増田	五島市	県	R12	全体計画 法枠工 1,800㎡、固定工 2,500㎡ 土留工 50m、測量設計 1式 保全対象 人家17戸、公民館、神社	290,000	145,000	130,500	14,500	当地区は、五島市南部に位置し、二級河川増田川の河口に隣接している。 近年の豪雨等により、人家裏山腹斜面内に小崩壊が発生している。また、山腹斜面の浸食により、巨石の不安定化が進行している。 今後の豪雨等により、拡大崩壊や落石により、下方の人家等に被害を及ぼす恐れがあるため、早急な対策を講じる必要がある。	五島市及び地元は早期の事業実施を強く要望しており、令和5年12月5日に施工願が提出されている。		A				
				R7計画 測量設計 1式	20,000	10,000	9,000	1,000								
				費用便益比									B/C=1.62>1.00		負担割合	国:県:地元=50%:50%:0%

令和7年度新規要求箇所評価調書(予防治山事業)

(ふりがな) 事業箇所名	市町村 名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R7)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R7)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)		地域の要望等		総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等					
							県債	一般財源						
あらかわ 荒川	新上五 島町	県	R11	全体計画 法枠工 1,700㎡、土留工 210m 測量設計 1式	310,000	155,000	139,500	15,500		当地区は、新上五島町中央部に位置している。 令和元年の豪雨により人家裏斜面の一部が崩 壊する被害が発生している。 また、隣接する山腹斜面内には小崩壊が発生 し、土石が流出している。 今後の豪雨等により、拡大崩壊し、下方の人家 等に被害を及ぼす恐れがあるため、早急な対策を 講じる必要がある。		新上五島町及び地元は早期の事業実 施を強く要望しており、令和6年1月29日に 施工願が提出されている。		A
				保全対象 人家11戸、寺社、緊急避難所										
				R7計画 測量設計 1式	20,000	10,000	9,000	1,000						
									費用便益比	B/C=1.34>1.00	負担割合	国:県:地元=50%:50%:0%		
合計					1,075,000	555,500	467,500	52,000	0					
					85,000	44,000	36,700	4,300	0					

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	育成林整備事業（林道）		
長崎県総合計画上の位置づけ	柱	2	力強い産業を育て、魅力あるしごとを生み出す
	基本戦略	3	環境変化に対応し、一次産業を活性化する
	施策	(1)	農林業の収益性の向上に向けた生産・流通・販売対策の強化
	事業群	②	産地の維持拡大に必要な生産基盤の強化

作成年月日	令和6年11月26日		
事業所管	農林部 森林整備班	森林整備室 (内線)	2986
課(室)長名	松尾 尚洋		

1. 事業の概要

事業概要	＜事業の主な実施内容＞													
	育成林の整備の推進を図るとともに、生活環境の改善にも資するために必要な路網の整備を行う。													
	＜国の主な採択基準＞													
	①地域森林計画に掲載された林道であること ②林道規定に適合すること ③開設効果指数が0.9以上 ④直接利用区域50ha以上（過疎30ha） ⑤全体計画延長1.0km以上（過疎0.8km） ⑥着工後10年以内に、利用区域内面積に対し延べ面積で10%以上に相当する森林整備が見込まれること													
	＜負担区分(%)＞		＜県費の継ぎ足し＞											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>国</th><th>県</th><th>地元</th><th>条件</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45</td><td>10</td><td>45</td><td></td></tr> <tr> <td>50</td><td>10</td><td>40</td><td>離島・過疎</td></tr> </tbody> </table>	国	県	地元	条件	45	10	45		50	10	40	離島・過疎	☐ 有 ☒ 無
国	県	地元	条件											
45	10	45												
50	10	40	離島・過疎											

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	・地域の要望が高いもの。 ・「木材生産の経費縮減」や「森林整備経費の縮減」等、投資効果が見込まれること。 ・森林経営計画の策定されていること。 ・関係機関との協議・調整が整っていること。
---------	--

3. 令和7年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	中須(なかす)線	五島市
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

令和7年度新規要求箇所評価調書(育成林整備事業(林道))

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R5)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R7)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等		総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等				
							県債	一般財源					
なかすぜん 中須線	五島市	五島市	R16	全体計画 森林管理道の開設工事 全体開設延長 4,457m 幅員 4.0 m	300,000	150,000	22,500	7,500	120,000	森林の有する多面的機能の維持・増進を図るには、間伐をはじめとする適正な森林整備が必要であり、そのためには作業を行うための路網整備が不可欠である。 「第3期ながさき農林業・農山村活性化計画」に掲げる目標（木材生産量260,000m3/年【令和12年度】）達成のため、木材搬出の基幹道を整備し、高性能林業機械を活用した効率的な木材生産を行う必要がある。当該路線の利用区域は森林面積：207ha（うち人工林178ha 人工林率86%）と資源が充実しており、森林管理道の開設により、当該区域からの材の搬出が可能となる。	五島市の中でも、まとまった資源が充実している地域であり、所有の過半を占める生産森林組合等の組織造林から今後の利用間伐・主伐に向けた基盤整備として路網整備の要望が強い。 個人有林も材の利用に向けて間伐の実施を計画しているため、長期的に利用可能な幹線道路の整備を強く要望している。（令和5年度五島市長へ要望書提出）		A
				R7計画 測量設計 1式	24,000	12,000	1,800	600	9,600				
				費用便益比	B/C=11.53>1.00		負担割合	国:県:地元＝50%:10%:40%					
合計					300,000	150,000	22,500	7,500	120,000				
					24,000	12,000	1,800	600	9,600				